

知事選勝利
明るい会・県民総決起集会
日時：2月8日(金) 18時半～
場所：千葉銀行文化プラザ



ホームページ <http://chibarouren.jp/> メール chibarouren@axel.ocn.ne.jp

第 254 号 URL 版 2013 年 1 月 31 日

発行 千葉県労働組合連合会

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター

電話 043(225)5576 FAX 043(221)0138

発行人 本原康雄 定価 20 円

【1面】

三輪さん囲み新春座談会

3/17 投票日

知事選勝利で平和・暮らしを守る

明けましておめでとうございます。今年は、知事選挙に立候補を決意した三輪定宣さん、石川真佐子千葉労連女性部長、松本悟千葉労連議長で座談会を開催しました。聞き手は、機関誌編集委員の鈴木玲子です。

暮らしはいかがですか。また働く現場はどのようになっていますか？

三輪定宣さん この間、勤労者の収入はどんどん下がり、貧困格差が拡大しています。一方で、大企業の内部留保は増え続け、これは経済全体の構造的な問題であると思います。貯めこまれた内部留保を社会に放出して、生活水準を回復させていくことが今求められていると思います。

石川真佐子さん 地域子育て支

援センターで仕事をしています。具合が悪く仕事を休みたいと思った時に、代わる人がいない等、人員不足の職場の異常さにこの歳でやっと気がつきました。また、お父さんたちの働き方は、とても厳しいと思います。朝早く夜も遅くて子どもにもなかなか会えない。お母さん一人でがんばっているという状況もあります。

松本悟さん 千葉労連の労働相談センターに、正月明けもはっきりなしに電話がかかっています。「首切られた、賃金下げられた、助けてほしい」等。千葉県は全国で唯一人口が減少しました。それは放射性物質の問題と茂原のパナソニックなど大企業の大量解雇が大きな理由であり、労働者全体が大変な状態になっていると感じています。

なぜ、ここまで貧困格差やデフレの状況になっているのでしょうか？

三輪 特に 90 年代から新自由主義がどの国でも政治の主張になってきています。これまでの日本の中間層が、上にいく者と下にさがる者という二極分化が展開し、どんどん格差がひらき、底辺に落ち込んでいった人が限りなく貧困になっています。しかも、日本の場合はそれを支えている社会保障の弱さが



左から鈴木編集委員、三輪知事予定候補、石川女性部長、松本議長

格差貧困に拍車をかけています。

主婦目線から石川さんはいかがでしょう

石川 物が安くなるのはやはりうれしいのですが、冷静に考えると絶対にこの値段で採算がとれないだろうなと思います。それでも利潤があがる。それだけ現場が叩かれているってことなんだろうなって。そこまで考えるとやはりおかしいなと思います。先ほど内部留保の話がでましたが、そんなに溜め込んで何がしたいのって思います。使い方が何か違う気がします。

三輪 そういうお金がまたヘッジファンドなどとなって世界中の経済を揺さぶって、一層この経済発展を歪めているんですね。

石川 健全じゃないですよ。主婦が投機みたいなことやったら、家はあつという間にぼしゃんですよ。

松本 会社は誰のものなのかという原点が今問われています。根本的には労働者の賃金を引き上げることがデフレ対策に一番つながるのであって、医療福祉も含めて暮らしが立ち行く、そういう賃金水準に持っていけないと、この不況は打開できないと思います。



昨年末の総選挙の結果を受けてどのように思われていますか

三輪 総選挙の結果は、国民の一般的な意識とかなり遊離が生じましたね。有権者全体の比率の中で自民党が確保した得票率は 16% なんです。それが、衆議院議席の 294、全体の 61% を占めている。小選挙区制のマジックですね。しかも、他の維新の会などの議席まで含めると 3分の2 という再議決も可能な、憲法改正も可能なような数まで確保してしまっただ。これは大変な政治危機を作りだしてしまっただ。国民の意思に反してね。そういう風に私はみております。

石川 テレビや新聞を見ていると、自民党対民主党、その第 3 極という話ばかりで、すごくあおられ感がありました。三輪さんのお話を聞いてみると、やはりそういうことなんだなって。これだけたくさん情報があると、こちらも賢くなっていかないといけない気がします。

三輪 史上最低の投票率でしたよね。59・3% でしたか。それだけ政権への不信が募っている中での選挙でしたね。

松本 結局、小泉さんが言っていた「改革なくして成長なし」という改革をやった結果、貧困格差が生じ成長がゼロになった。その時点で自民党が政権を追われ、民主党は国民の生活が第一だというマニフェストを作った。ところが民主党も自滅していった。もう信じられないという中で、雨後の竹の子のように政党が出て、脱原発など同じようなことを言い始めたわけなんです。そうするともう有権者はわからなくなってしまった。結果、自民党が前回より票を減らしても、圧勝したと。国民の多くが、憲法を変えるんじゃないかと心配をしているというのが、今の状況じゃないかなという気がしますよね。

そのような状況の中で今年がスタートしましたが、今年の抱負をそれぞれお聞かせください

三輪 総選挙の結果、自民圧勝となりましたが、そのことは、これからの政治にとってマイナスだけではなく、有権者としての危機感が募って、これをもう 1 回復元していくという力学が働くと思います。県民の要求から乖離した県政を大きく変えていくというのは、こういう危機バネを土台にしていくのではないかと感じますね。この千葉県知事選挙は、参議院選にいくまでの間にある選挙で県内外の

政治の状況を大きく変えていく非常に重要なステップだ
という風に思っております。

石川 労連女性部では、やはり選挙があるからこそ女性の
要求を出していけるんだねということを確認しました
。私も女性部の部長になりたてで、今年は勉強の 1 年だ
と思っています。

松本 千葉労連は 4 年に一度の春闘の時は、知事選春闘
という名称を使っているんですよ。政治闘争と経済闘争
を結合した時に、労働者の要求は歴史的にも前進してい
ます。平和を守るために全国民を代表して千葉県民が安
倍政権に審判を下す一つの転機にして、憲法 9 条を守る
と同時に、消費税増税を実行させない、この流れを作っていきたい。千葉労連としても全力を挙げて三
輪知事実現のために働きたいと思っています。

最後にこれからの展望・希望をお聞かせください

三輪 ある意味では新しい時代のスタートですから、国の方向をしっかりと方向付けていくその分岐点
にしないといけないという風に思います。こうした大きな時代の転換期の中で日本の政治を確実に動
かしていくことができる、そういう成熟した政治的な力量を日本国民、県民は蓄えてきているという風
に思います。私はその良識に依拠しながら知事選についても果敢に挑戦したいと思います。

石川 失敗はありますが、そこから何かを学ばないといけないんだなと三輪さんの話を聞いて思いま
した。今年もたくさん失敗すると思いますが、そこから何かをつかめるそういう 1 年になるといいです。

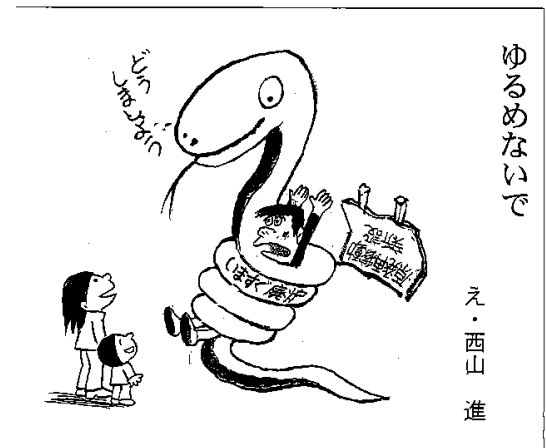
松本 日本人が変わってきたなと思います。その象徴が僕は官邸前の原発デモだと思います。自分た
ちの未来は自分たちが行動することによって決める、直接民主主義の意志が表れてきました。そういう人
たちが増えてきているというところに、僕は今年の希望があるんだと。知事選挙で三輪さんを当選させ
て、参議院選挙で革新を前進させ、労働者、国民が大事にされる社会を作っていきたいなと、そういう
転機の年にしたいなと思っています。



ここ数年、年賀状を控えている。
年末の切迫感が身体に悪いというの
が理由だが、今は届いた年賀状と対
話しながら書くのが気に入っている

波涛

「年玉を貰ふた娘のたすきがけ ただ夫」この俳句の返
答には困った。古希を迎える父親が、戯れにひとり娘を詠
んだのか 後輩の幸せそうな家族写真。子どもたちを見つ
めながら書き送った言葉は「ふと、親は子どもたちの時代
をつくる者たちなんだ。」と浮かびました。「旧年中残念
だらけでした。日本の困難はまだ続く」には、「小選挙区
88 万票で 9 議席対 470 万票で 0 議席の虚構」と書きなが
らふと「闘いなくして前進なし。知事選挙共にがんばろう」
とペンが走った。



【2 面】

「国の責任認める」判決

全面解決への新たなたたかい



勝利判決に湧く東京地裁前 = 12 年 12 月 5 日

支援する仲間や関西・九州からの訴訟団がかけた東京地裁前には約 2000 人が集結。昨年 12 月 5 日、判決を迎えた首都圏建設アスベスト訴訟には多くの報道陣が詰めかけ、その関心の高さを示しました。

原告団の代表が入廷、外で待機する原告団も固唾をのんで見守るなか、午後 3 時、地裁から走り出した弁護士が支援者の前に広げた旗は「国の責任認める」「勝訴」。一斉に歓声が響き渡り、抱き合って喜び合う原告団、全国初の歴史的判決に詰め寄る取材陣の慌ただしい動きがありました。

線引きされた労働者 加害企業を「免罪」

始関正光裁判長は、23 ページに及ぶ判決文を読み上げ、308 人の原告患者のうち 158 人に対し、国に総額 10 億 6394 万円の支払いを命じました。

一方、一人親方や零細事業主は、労働安全衛生法上の「労働者」には該当しないとして保護対象から外され、1980 年(昭和 55 年)以前に働いていた人を含め、150 人が救済されない結果となりました。また、国は「二次的責任」だとして賠償額は 3 分の 1 に減額。労働者としての期間や病名(肺がん、石綿肺、びまん性胸膜肥厚)によっても一定の減額となりました。

加害企業に対しては、1981 年(昭和 56 年)以降「危険性を明示する注意義務があった」と明確に認めながらも、その賠償責任をすべて免罪。被告企業が「何らの責任を負わなくてもよいのか」という点について疑問があると言わざるを得ない」と結論づけたものの「個々の原告との関係を特定できない」とし、42 社の共同不法行為を認めず「アスベスト含有建材の製造を禁止すべきだった」との原告の主張を退けました。

実態を知ってほしい 勝利判決を武器に控訴

この判決内容を分析し、12 月 8 日に東京高裁へ控訴。早期に衆・参議院の賛同署名の再展開、国会での多数派をめざし議員会館と地元事務所の両方から要請する方針を示しました。

弁護団とともに記者会見に臨んだ町田八千代さん(千葉土建原告家族)は「アスベストにより兄の命を奪われ、父も中皮腫となり厳しい病状。この危険性、被害の実態を伝えていくことが私の使命です」と力強く決意を表明。

勝利判決という武器を手に入れ、命あるうちの全面解決へ...新たなたたかいが始まりました。



勝利判決の瞬間、歓声を上げる原告

生活保護受給は国民の権利

ちば派遣村何でも相談会

年越しを控え、県内の労働組合や民主団体で実行委員会を構成する「ちば派遣村なんでも相談会」が開催されました。

12 月 25 日に柏駅で行われた東葛会場には電話相談を含め 44 件以上、26 日に行われた千葉会場には 24 件の多岐にわたる相談が寄せられ、「体を悪くし退職後はネットカフェを転々」「定職がなく年金を払っていない」「子どもが生まれるが費用が不安」などの声が聞かれ、弁護士、税理士、司法書士、医師、看護師、ソーシャルワーカーや労働相談員はじめ、各分野の専門家が対応、助言しました。

今回の相談会では、明らかに生活保護水準を下回る生活をしているのに、生活保護の申請をためらう相談者が多く、対応した相談員は「生活保護を受給することは国民の権利」であることを相談者に訴えました。

相談員からは「生活保護のバッシングが強まり、必要な人が申請をためらうことが心配」「電話相談の案内チラシを大切に持ち帰る人が多かった」などの声が聞かれました。当日会場で 16,000 円のカンパが寄せられました。



千葉駅前の相談会場

君津・木更津地区労連餅つき大会開催

今回は 1 月 27 日開かれます。新規受講者を歓迎します。是非ともおいで下さい。2012 年も暮れようとする 12 月 23 日、袖ヶ浦公民館で君津・木更津地区労連主催の「団結餅つき大会」が開かれました。

この餅つき大会は、JMIUソーラーシリコンテクノロジー支部の仲間が首切りにあった最中に、組合員と家族同士の団結を固めようと 2 年前に発案されました。SST の仲間は、職場に戻る勝利を勝ち取りましたが、それを機に餅つき大会を止めることなく、今度は地域労連としての取り組みに発展させました。

餅つきに、なかなか腰が定まらない松本議長を始め、老若男女が餅つきに参加し、美味しいつきたての餅と豚汁とお酒に舌鼓を打ちながら、2013 年こそは人間が大切にされる社会を実現しようと決意し合う場となりました。



餅をつく松本議長